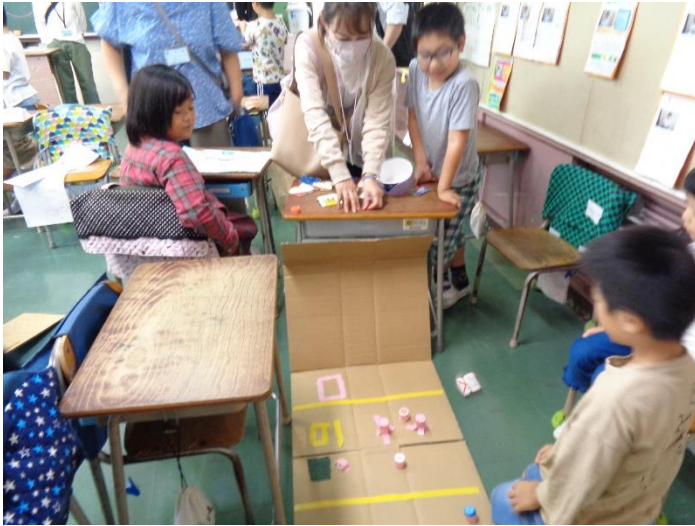


2年生 「うごく うごく わたしの おもちゃ」

2年生は、生活科の時間に『動くおもちゃ』作りに取り組みました。身近にあるものや自然を利用して工夫しながら楽しいおもちゃを作りました。おうちの方や地域の方をご招待して、「おもちゃ祭り」を開きました。自分たちが考えた遊び方やおもちゃを通して、いろいろな人とかわりあいながら楽しく学習しました。



作ったもの「パッチン ジャンプ」

【工夫したところ】

牛乳パックと輪ゴムを組み合わせて作りました。遠くまで飛ぶように、硬い牛乳パックを使ったり、輪ゴムの本数を増やしたりして作りました。的を作って、点数の競争ができるようにしました。

作ったもの「トコトコ車」

【工夫したところ】

容器と輪ゴムと乾電池を組み合わせて作りました。最初は動かなかったけど、何度も作り直してトコトコ動くようになりました。容器に絵や飾りをつけて、お客さんに楽しんでもらえるようにしました。



作ったもの「ころころころん」

【工夫したところ】

丸めた画用紙の中に乾電池を入れて作りました。はじめは中々上手く転がらなかったけど、乾電池の大きさを変えると、速さが変わりました。もっと速く転がせるように、坂道のコースを段ボールで作りました。



作ったもの「 ヨットカー 」

【工夫したところ】

トレイと容器を組み合わせて、ヨットカーを作りました。風が当たりやすいように、帆を作りました。何度も作り直して、遠くまで動かすことができました。模造紙を使った大きなコースを作りました。



作ったもの「 ロケットポン 」

【工夫したところ】

容器とトイレットペーパーの芯で作りました。部品が取れたら困るから、テープをしっかりと貼りました。色を塗ったり、モールの飾りをつけたりしました。的を作って、点数が取れるようにしました。的を大きくして、点数を取りやすくしました。

作ったもの「 ぴよんコップ 」

【工夫したところ】

コップと輪ゴムで作りました。ゴムを強く張ると、高く飛びました。ぴよんコップが壊れないように、輪ゴムをテープでしっかりと貼りました。コップに画用紙を貼って、イヌやウサギなどの動物を作りました。床に点数の的を置いて、発射台から飛ばすようにしました。





身近な物を使って楽しいおもちゃを作っていましたね。私も小学生のころに作ったことを思い出しました。風を受けて走る車では、いろいろな形の車があって、工夫してあるなど感心しました。また、遠くまで飛ぶためには、おもりなどを付けるなど、試行錯誤しながら作っている様子がわかりました。



地域の方から



一生懸命ルール説明をしてくれる姿があり、感心しました。チケットを作ったり、ポイント制にしたりと楽しむための仕掛けがあって、楽しく遊ぶことができました。2年生が、こんなに工夫あるおもちゃが作れることに驚きました。とても楽しかったです。



ゴムで弾むコップのおもちゃで遊びました。大きい方がよく飛ぶのかと思っていたら、小さいコップの方が飛ぶことを教えてもらいました。いろいろ考えながら作っているんだと感心しました。どのおもちゃもいろいろな仕掛けや工夫があり楽しめました。1年生に披露すると聞いています。1年生でもできるようにと考えられていて、2年生の優しい気持ちを感じました。